

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 4日 更新

事務事業名		障がい者住宅改造成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	8	障がい者(児)の自立と社会参加の促進			所属課	福祉課	担当者名	佐伯 幸治
	施策の柱	29	障がい者(児)への総合的な支援及び福祉サービスの充実			所属班	障がい福祉班	(内線)	1159
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 3	事業連番	10517	根拠法令	合志市障害者住宅改造成事業実施規則
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	在宅の重度の身体障がい者(児)及び知的障がい者(児)世帯に対し、在宅での自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図ることを目的として、申請に基づき住宅改造成に必要な経費を助成する事業
【業務の流れ】	住宅改造成実施者からの相談→実地調査及び改造成方法の助言(必要に応じて住宅改修相談員に依頼)→助成金交付申請受付→助成金交付決定→住宅改造成実施→実績報告、助成金の請求→助成金の支給
【主な予算費目】	委託料、補助金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	① 手段(主な活動) 5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
重度の身体・知的障がい者の在宅生活に必要な住宅改造成に対し、経費の助成を行った。 【基準に達しなかった理由】申請3件のうち、1件については9月に申請を受理し、助成のために補正を行ったが、熊本県及び事業所と協議を重ねた結果、2月に却下となったため。	重度の身体・知的障がい者の在宅生活に必要な住宅改造成に対し、経費の助成を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア 住宅改造成申請件数	件	申請者数増加見込による補助金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
在宅の重度障がい者(65歳未満の者で、身体1、2級・知的A1、A2手帳所持者)	人	ア 左記の者の数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
在宅生活に必要な住宅改造成を行うための助成を受けられる	人	ア 実際に助成を受けた者の数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
障がい者が在宅生活に必要な住宅改造成を受けられたかどうかを助成を受けた者の数で把握する		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア 件	イ	1	1	1	3	2	2	2	2
② 対象指標	ア 人	イ	524	550	520	575	520	520	520	520
③ 成果指標	ア 人	イ	1	1	1	2	2	2	2	2
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	231	280	450	466	900	900	900
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	242	292	461	488	922	922	922	922
	(A)のうち指定経費	千円	473	572	911	954	1,822	1,822	1,822	1,822
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	135	140	320	165	320	320	320	320
	(B)人件費計	千円	532	547	1,274	627	1,274	1,274	1,274	1,274
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,005	1,119	2,185	1,581	3,096	3,096	3,096	3,096

事務事業名	障がい者住宅改造助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 申請は1件を想定していたが、3件の申請があり、2件が決定・補助した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ⇒
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 重度障がい者の在宅への移行は増えており、それに伴い住宅改造がなされると思われる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 住宅改造の内容はあらかじめ定められており、向上の余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はなく統合できない	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 経済的支援であるため削減の余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最少の業務時間で行なっており、削減余地はない。また、現在も一部委託を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 対象要件を満たしていれば利用できる制度であり、公平である。工事業者についても対象者が自ら選定できるため、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 専門性が求められるため、現在の分担が適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (CHECK)

在宅の重度の身体障がい者(児)及び知的障がい者(児)世帯に対し、在宅での自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図ることを目的として、申請に基づき住宅改造に必要な経費を助成する事業であるが、本年度は3件の相談を受け、うち2件について生活の不便さが認められたため改造を実施した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						